卒　業　論　文

Multi-Agent Simulationを用いた

労働市場のモデリング

（論文要旨）

平成28年4月進学

経営学科

07-161069

津島 亮太

論文要旨

　私は就職活動を通じて労働市場における労働者と雇用主のマッチングについて興味を抱いた。特に、各労働者が職を探す、各雇用主がオファーを出す、といったミクロの行動を単純なルールの下で行ったとき、マッチング率や賃金体系といった労働市場全体にどのようなマクロな影響を及ぼすのかを明らかにしたいと考えた。そこで、労働者や雇用主をエージェントとみなし、労働市場という場で動かすシミュレーションモデルを構築し、分析をするという手法をとることにした。

　本稿では労働市場の就業状況をMulti-Agent Simulation という手法を用いてモデル化し、労働市場のマッチング状況について考察する。なお、モデリングには artisoc 4.0 standard というソフトを用いた。エージェントに付与するルールの有無によって区別された8つの労働市場を分析してマッチング率や平均賃金などの指標がどのような影響を受けるのかについて考察する。

東京大学経済学部経営学科

津島 亮太